

笠北だより

平成31年2月28日 第39号

【めざす学校像】

- 児童・職員・保護者がともに成長する学校
- 互いの違いや個性を尊重し、力を合わせて成長する学校
- 自他の間違いや失敗を認め合い、成長へと結びつける学校

児童集会【保健委員会】

委員会が「睡眠と食事と運動」の話をしてくれました。クイズや寸劇を取り入れたり、わかりやすく解説を加えたりして、とても楽しく勉強することができました。あまり



2月12日（火）の朝行事で保健委員会が「睡眠と食事と運動」の話をしてくれました。クイズや寸劇を取り入れたり、わかりやすく解説を加えたりして、とても楽しく勉強することができました。あまり気にとめない食事や睡眠ですが、毎日のことなので、とても重要だと感じました。時間をかけて準備してくれた保健委員の人たちに感謝です。



4年生、尾瀬教室(2/27)



4年生が移動尾瀬教室を行いました。尾瀬保護財団の方と、ボランティアガイドの方が来てくださって、たくさんのスライド写真を使って、尾瀬の魅力をお話ししてくれました。子どもたちは真剣に聞きながら、驚いたり感動したり、とてもいい勉強になりました。右の写真は鹿の頭部ですが、この立派な角は毎年生え替わるそうです。



長縄跳び大会(朝体育)



2月26日の朝行事で長縄跳び大会を行いました。体育委員会が考えて、実際に運営してくれました。各クラスで昼休みや20分休みに練習した成果が出て、良い取組になりました。連続で300回を超えて跳ぶクラスもあり、びっくりしました。



おもしろ怨霊・俗女ち猿

～ひそみに倣(なら)う～ [名言・格言集第37弾] 中国の春秋時代、呉と越が争っていた頃の話です。西施(せいし)とう絶世の美女は、胸を病んでいて眉をひそめることが多かったが、その姿がまた美しかったそうです。ある女性はその西施のまねをして、眉をひそめて歩いたが、まわりの人たちは誰も相手にしてくれなかったという故事です。そのことから「ことの良し悪しを考えずに、やたらに人のまねをすること。また、他人に倣って物事をするとき謙遜して言う言葉」として使われるようになりました。松尾芭蕉の俳句に、「象潟(きさかた)や雨に西施がねぶの花」があります。なぜここに西施が登場するのか? 興味のある人は調べてみてください。